

2023 年度

松山市立石井保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 9 日（火）～2 月 9 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園内に掲示を行い職員会議前に全員で唱和し、理解を深めていった。めざす保育も STEAM 教育の実践、報告を行うことで、具体的な保育を確認することができた。
子どもの発達援助	保育所保育指針も読み合わせを園内研修で行い、子どもの発達について十分に理解し、それぞれにあった支援を行った。今後も園内研修を行い、子ども発達理解、関わり方を深めていきたい。
保護者に対する支援	保育士・看護師・栄養士等、専門的な立場から支援・助言を保護者へ行った。必要に応じて園長・主任保育士も関わり、支援する事が出来た。今後も保護者が話しやすい環境づくりをしていきたい。
保育を支える組織的基盤	各クラス担当の主任・副主任保育士を交えて話し合い、クラスの課題点や子どもの課題を把握し共有を図った。必要に応じて、職員会議で、全職員で共通認識をもち支援を行った。

総評
コロナに加えインフルエンザも流行し様子を見ながら進めていく 1 年だった。5 類になった事で 3 歳以上児の季節の行事集会を行う事ができ、異年齢児での関わりを持ち楽しめる事ができた。保育士もイベントを企画立案し実行する事で様々な気づきがあり、次への良いステップになった。保育園をとり巻く社会状況の変化をしっかりと認識し、職員間で問題を捉え、話し合い意見を出し合っていた。今後もスタッフ間で建設的な話し合いが出来るよう日頃より積極的にチームワークの構築に努めたい。